

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-34	高等学校	数学	数学B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、以下の4つを基本方針に据え、確実な数学的教養の育成を目指した。

- 1** 「何を」「なぜ」学んでいるか意識することで、内容の暗記にとどまらず、本質的で汎用性のある知識・技能が身に付けられる。
- 2** 「どのように」考えるか意識することで、思考力・判断力・表現力を養うことができる。
- 3** 生徒の主体的な学習を助ける。
- 4** 進学する生徒に必要な数学的教養が身に付けられるだけでなく、社会生活で役立てられるような数学的教養も身に付けられる。

## 2. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	SDGs（持続可能な開発目標）に関連する写真を掲載することで、数学を活用して環境の保全について考えるなど、社会へ参画するきっかけになるようにした。（第3号，第4号）。	前見返し1，2
第1章 数列	生活に関連する内容として、複利計算の話題を取り上げた（第2号）。 漸化式について、本文と異なる解法を「研究」で紹介し、自ら工夫して結果を得る態度を養えるようにした（第2号）。 数学的帰納法を用いて整数の性質を証明する問題について、数学的帰納法を用いない証明法もあわせて取り上げ、いくつかの方法で証明するような真理を求める態度が養えるようにした（第1号）。 フィボナッチ数列を題材として取り上げ、その歴史を通じて他国を尊重する態度を養えるようにした（第5号）。	23 ページ 41 ページ 49 ページ 53 ページ

<p>第2章 統計的な推測</p>	<p>天気予報という身近な例を題材に、確率を事後にはかることが可能かという話題を取り上げ、慣れ親しんだ確率の考え方を改めて深く考えなおすきっかけになるようにした（第1号，第2号）。生徒に関するデータを題材にする場合は、男女両方を取り上げた（第3号）。社会に数学が役立てられている例として、国勢調査やテレビ番組の視聴率について取り上げた。また、世論調査についての問題も取り上げた。（第3号）。教科書内の問題にとどまらず、この章で学んだ内容を用いて実際に統計的な推測を行うことを想定して、有意水準を決める際の注意点を上げ、自主的に現実における適切な判断を行う態度が養えるようにした（第1号，第2号）。</p>	<p>54 ページ  83 ページ  88, 103 ページ  115 ページ</p>
<p>第3章 数学と社会生活</p>	<p>まず、富士山が見える場所という具体的な題材を通して、数学を活用して問題を解決する方法を詳しく紹介し、実際に問題を解決しようとする態度を養えるようにした（第1号）。選挙における議席配分について取り上げ、18 歳からの選挙権に興味をもち、社会へ参画する態度を養えるようにした（第3号）。気温の変化を分析する内容を取り上げ、環境の保全に取り組む姿勢を養えるようにした。合わせてSDGs（持続可能な開発目標）にも触れた（第4号）。</p>	<p>118～121 ページ  130～133 ページ  138～140 ページ</p>
<p>数学の考え方</p>	<p>数学の問題を解くときにどのように考えるかについて、本文の内容と関連付けながら詳しくまとめ、生徒が自らの思考のプロセスを意識することで、思考力・判断力を養えるようにした（第1号，第2号）。</p>	<p>154～161 ページ</p>
<p>総合問題</p>	<p>数学Bで学んだ内容を発展させる問題を設定し、生徒の関心や意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高められるようにした（第1号，第2号）。</p>	<p>162, 163 ページ</p>
<p>答と略解</p>	<p>意欲のある生徒が自学自習もできるよう、問題、章末問題、総合問題の答と略解を掲載した（第2号）。</p>	<p>164～168 ページ</p>
<p>主な用語</p>	<p>数学用語を用いて表現する際の注意点などをまとめ、自ら表現する活動の助けになるようにした（第2号）。数学用語の英語表現を掲載し、国際社会で数学を役立てられるきっかけになるようにした（第5号）。</p>	<p>172, 173 ページ</p>
<p>後見返し</p>	<p>数学を具体的事象に活用する場面で、正規分布に従う確率変数についての確率の近似値が調べられるようにした（第2号）。</p>	<p>後見返し 2</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

「1. 編修の基本方針」にのっとり、以下の点に特に意を用いた。

#### 1 「何を」「なぜ」学んでいるか意識することで、内容の暗記にとどまらず、本質的で汎用性のある知識・技能が身に付けられる。

学ぶ内容の全体像が把握できるようにした。

(8ページ, 37ページなど)

項目の初めに設けた「ここで学ぶこと」では、既習事項との関連や違いを確認しつつ、その項目で学ぶことを提示し、内容の全体像が把握でき、何を何のために学んでいるのか、生徒自身が意識しながら読み進められるようにした。また、各節の全体像が視覚的に把握できるロードマップをデジタルコンテンツで用意した。

**Link MAP** 9 漸化式

ここで学ぶこと

数列  $\{a_n\}$  の一般項  $a_n$  が  $a_n = 3 \cdot 2^{n-1}$  のように  $n$  の式で表されているとき  $n$  に 1, 2, 3, …… を順に代入することで数列のすべての項が得られる。すなわち、数列のすべての項が定まっているといえる。

一方、「数列  $\{a_n\}$  は、初項  $a_1 = 3, a_2, a_3, \dots, a_n, a_{n+1}, \dots$  が 3 であり、すべての項について、2 を掛けた次の項になる」のように、初項 および隣り合う 2 項間の関係がわかっているときも、その関係から項が次々に定まり、数列  $\{a_n\}$  のすべての項が定まる。ここでは、このような条件で数列を定める方法について学び、その条件から数列の一般項を求めることを考えよう。

(37ページ)

→ **3**

例題の解答を振り返る場面を設けた。

(12ページ, 31ページなど)

例題の解答の後に、その内容を真に理解できているか確認するため、その解法が妥当である理由などを説明させる **【?】** や **?** を設けた。それにより、解答を単に暗記するだけでなく、理解して定着できるようにした。

**例題 5** 次の数列  $\{a_n\}$  の一般項  $a_n$  を求めよ。  
1, 3, 7, 13, 21, ……

**解答** この数列の階差数列は 2, 4, 6, 8, ……  
その一般項を  $b_n$  とすると、 $b_n = 2n$  である。  
よって、 $n \geq 2$  のとき  $a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 2k = 1 + 2 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n$   
すなわち  $a_n = n^2 - n + 1$   
初項は  $a_1 = 1$  なので、この式は  $n = 1$  のときにも成り立つ。  
したがって、一般項  $a_n$  は  $a_n = n^2 - n + 1$

**【?】**  $a_n = n^2 - n + 1$  が  $n = 1$  のときにも成り立つことを確認したのはなぜだろうか。

(31ページ)

#### 2 「どのように」考えるか意識することで、思考力・判断力・表現力を養うことができる。

どのように考えるか意識しながら学べるようにした。

(108ページなど, 154~161ページ)

比較的難しい問題や、本文で特徴的な考え方を示す箇所に、どのように考えるか端的に表したキーワードを **考え方** として付した。キーワードに触れながら取り組むことで、どのように考えるかが自然に意識され、思考力を養うことができる。

さらに巻末には「数学の考え方」として、問題への取り組み方や本文に付したキーワード、および個別の内容についての詳しい解説を掲載し、さらに思考力を高めていけるようにした。

ここまで、仮説検定において、帰無仮説のもとで、確率変数  $X$  について得られた標本の値が実現する確率を求め、それが有意水準よりも小さいかどうかで帰無仮説を棄却するかどうか判断した。

一方、有意水準をもとに帰無仮説が棄却されるような  $X$  の値の範囲を求め、得られた標本の値がその範囲に入るかどうかで帰無仮説を棄却するかどうか判断することもできる。

**考え方 見方を変える** ▶ p.161

(108ページ)

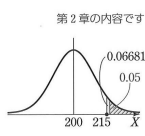
**考え方 見方を変える**

1つの事柄について、複数の方法でとらえられるようになると、数学の考え方の幅が広がります。

◆ 108ページ 仮説検定の2つの方法

107ページ例23では、400人中Bと回答する人数  $X$  が近似的に正規分布  $N(200, 10^2)$  に従うことから、 $P(X \geq 215)$  と有意水準5%との大小を比べることで、帰無仮説を棄却するかどうか判断しました。これは、右の図において、 $P(X \geq 215)$  を表す部分の面積と斜線部分の面積0.05との大小を比べていることになります。

ここで、確率  $P(X \geq a)$  は、 $a$  の値が大きくなるほど小さくなることに注目してみましょう。このことから、確率ではなく  $X$  の値の大小で、帰無仮説を棄却するかどうか判断することはできないでしょうか。

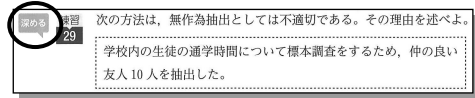


(161ページ)

思考力・判断力・表現力を養うための問題を掲載した。

● 深める (90 ページなど)

見方を変えて考えたり、内容の正確な理解が必要となったりする問題を本文内に適宜設けた。



(90ページ)

● 問題 (24 ページなど)

節末に設置した問題の最後に、思考力が必要な問題を掲載した。

● 総合問題 (162, 163 ページ)

本文の内容を総合的に活用して取り組む長文の問題を巻末に掲載した。

● Expression, 主な用語 (82 ページ, 172, 173 ページ)

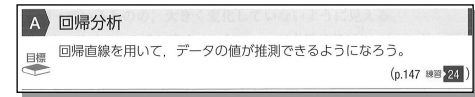
数学用語を正しく用いて表現する練習を Expression として設けた。また、数学用語を用いて表現する際の注意点を、巻末の主な用語の中に適宜掲載した。

3 生徒の主體的な学習を助ける。

生徒が主体的に取り組むための工夫を施した。

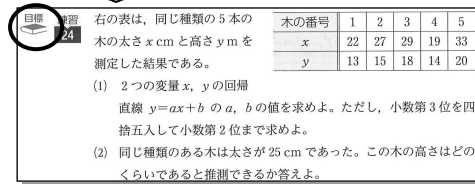
● 目標の設定 (8 ページ, 144 ページなど)

各小項目に目標を設定し、何ができるようになればよいか生徒が意識して学べるようにした。



(144ページ)

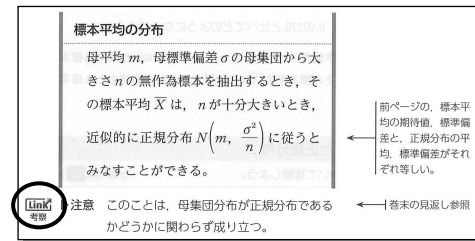
また、目標となる具体的な練習も設定し、その練習が解けたか振り返ることで、目標を達成できたかを生徒自身で把握できるようにした。章扉には目標の一覧も設けた。



(147ページ)

● ICT の活用 Link マーク

教科書の内容について、生徒自らが考察するためのツール、理解を助ける動画やアニメーション、参考資料、計算カードなどのデジタルコンテンツを用意した。



(95ページ)

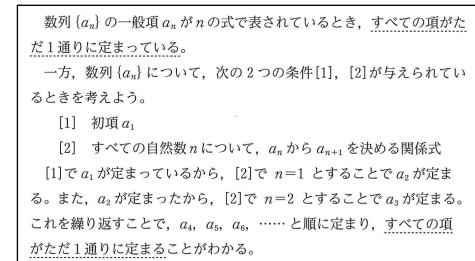
紙面では表現が難しい動きをとともなうコンテンツもあり、生徒が触れることで理解を深められるようにした。コンテンツは、インターネットに接続することで活用できる。

生徒自身で読み進められる工夫を施した。

● ここで学ぶこと → 1

● 内容のつながりを意識した記述 (37 ページなど)

本文でも、既習事項との関連や違いを意識した記述とし、単発の問題の羅列ではなく、内容の全体像の中での位置づけを理解しながら読み進められるようにした。



(37ページ)

● 数学独特の表現の補足 (15 ページなど)

「辺々を加える」などの数学独特の表現について脚注で補足した。

● 既習事項の復習 (58 ページ, 73 ページなど)

第2章において、数学Aの確率の内容を適宜取り上げ、容易に読み進められるようにした。

#### 4 進学する生徒に必要な数学的教養が身に付けられるだけでなく，社会生活で役立てられるような数学的教養も身に付けられる。

その後の学習や進学後の学習に必要な内容は，本文でしっかりと扱うようにした。

##### ●等差数列の和の最大・最小 (17ページ)

等差数列の和の応用として，等差数列の和の最大値，最小値について扱った。

##### ●数列の和の応用 (33～35ページ)

数列の和の応用として，各項を部分分数に分解するもの，各項が等差数列と等比数列の項の積になっているもの，群数列などを扱った。

**応用例題 1** 初項が 20，公差が  $-3$  である等差数列  $\{a_n\}$  がある。

(1) 第何項が初めて負の数になるか。

(2) 初項から第何項までの和が最大であるか。また，その和を求めよ。

**考え方** (2) 和の増減に着目する。正の項を加えると和は増加し，負の項を加えると和は減少する。

**考え方** 見方を変える

(17ページ)

本文外の「研究」や「発展」を学ぶことで，更に充実できるようにした。

##### ●隣接 3 項間の漸化式 (42, 43 ページ)

漸化式の発展として，隣接 3 項間の漸化式を扱った。隣接 3 項間の漸化式の意味から丁寧に解説して，取り組みやすくしている。

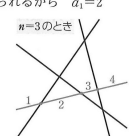
##### ●漸化式の活用 (44 ページ)

図形の内容で，漸化式を利用して考えることのできる問題を扱った。

**例題 1** 平面上に  $n$  本の直線があり，どの 2 本も平行でなく，また，どの 3 本も 1 点で交わらないとする。これら  $n$  本の直線が，平面を  $a_n$  個の部分に分けるときの， $a_n$  を  $n$  の式で表せ。

**新法** 1 本の直線で，平面は 2 つの部分に分けられるから  $a_1=2$

**Link**  $n$  本の直線により，平面が  $a_n$  個の部分に分けられているとき， $(n+1)$  本目の直線  $\ell$  を引く。  
 $\ell$  は  $n$  本の直線と  $n$  個の点で交わり， $(n-1)$  本の線分と 2 本の半直線に分けられる。  
 これらの線分と半直線は，それが含まれる各平面の部分をも 2 つに分けるから，直線  $\ell$  を引くことで平面の部分が  $(n+1)$  個増える。  
 よって  $a_{n+1}=a_n+(n+1)$  すなわち  $a_{n+1}-a_n=n+1$



(44ページ)

生活に数学を役立てる場面や，その準備となる場面を設定した。

##### ●複利計算 (23 ページ)

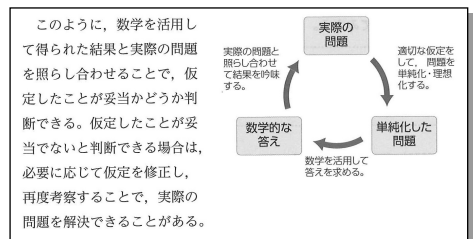
複利法による元利合計金額を等比数列を用いて求める内容を掲載し，等比数列によって値が増加する感覚を，金利という身近な題材で理解できるようにした。

##### ●推定，仮説検定 (99～111 ページ)

統計的な推測では，世論調査や種子の発芽率など実生活での問題を想定した例題や練習問題を設け，統計を物事の判断基準に利用できることが伝わるようにした。

##### ●第 3 章 数学と社会生活 (116～153 ページ)

社会生活で数学が役立っている場面を数多く紹介した。また，現実の問題を数学を活用して解決する方法を具体的な手順とともに提示し，数学を活用して社会問題を解決できるように，また，解決する意欲を養えるようにした。



(121ページ)

#### 5 ユニバーサルデザインに関する取り組み

##### ●色づかい

色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいよう，カラーユニバーサルデザインに配慮した。

##### ●文字

本文等に，多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字(ユニバーサルデザインフォント)を使用した。横画が通常のフォントより太く，視認性・可読性に優れている。

通常のフォント

るような実数

ユニバーサルデザインフォント

るような実数

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-34	高等学校	数学	数学B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

	<b>1. 編修上特に意を用いた点や特色</b>
<b>1</b>	<p><b>全般的な留意点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 数学的教養や学習態度が多くの生徒の身に付くよう、できる限り平易な例示による明解な説明とし、段階を追った論理の飛躍がない展開とする。</li> <li>2 生徒の学習が、内容の暗記や例題の真似に偏ることのないようにし、確かな知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力につなげられるようにする。</li> <li>3 学習内容の全体像や前後の内容とのつながりを随時示すことで、生徒が単発の問題の羅列と感じないようにする。</li> </ol>
<b>2</b>	<p><b>教科書の特徴</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的な概念や原理・法則について体系的な理解を深めることができるよう、既習事項との接続ならびに各学習事項の体系にギャップが生じないよう十分な配慮をした。特に、内容どうしのつながりが読んで理解できるよう心掛けた。</li> <li>2 用語・記号の定義や本文の説明は、単純平明で理解しやすいものにする一方で、できる限り汎用性のある記述になるよう心掛けた。</li> <li>3 例や例題はできる限り基本的な内容に絞り、理解が容易になるようにした。また、既習内容の組み合わせで解ける問題は例示せず練習問題としたり、例題の解答を振り返って理解を確認する問いを設けたりして、生徒の学習が内容の暗記に偏らず、本質的な知識・技能を理解して身に付けられるよう配慮した。</li> <li>4 生徒が思考力を伸ばしていけるよう、どのように考えて問題などを解決していくか、その考え方が常に意識できるように心掛けた。</li> <li>5 図版を多用したり、レイアウトを工夫したりして、視覚的な面で理解の助けになるようにした。また、生徒が親しみをもって学習できるよう、色刷りの図版や写真を豊富に使うなどして、生徒の感性に近づける工夫をした。</li> <li>6 数学的論拠に基づいて判断する態度が育つよう数学的な厳密さにも配慮した。また、本文の説明や展開における表現・表記の不統一を排除し、例題や応用例題の解答も論理的飛躍が生じないよう配慮した。</li> <li>7 第3章「数学と社会生活」をはじめ、興味をもって主体的に学べるような題材を選ぶことで、生徒が数学の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度が養えるようにした。</li> <li>8 余力のある生徒のため、高等学校学習指導要領における数学Bの範囲を超えた内容のうち適切と思われるものを、発展で扱うようにした。</li> <li>9 色覚の個人差を問わず多くの人が見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮した。また、本文の和文書体として、多くの人が見やすく読みまちがえにくいデザインの文字(ユニバーサルデザインフォント)を用いた。</li> </ol>

### 3 教科書の構成要素

#### 各章の構成

[ここで学ぶこと] その項目で何を学ぶかを、既習事項と関連付けてまとめた。

[目 標] 小項目で身に付けるべき内容を具体的な「練習」の番号とともに示した。

[例 題] 本文の内容を理解するための導入例や計算例である。

[例 題] 学習した内容を利用して解く、重要で代表的な問題である。「解答」や「証明」では模範解答の一例を示した。最後に **【?】** や **①** として解答の内容に関する問いを載せてあり、それに答えることで、解答をただ読んだり真似したりするだけでなく、自然に例題を深く理解できるようになる。特に、**①** は、考えることで後の練習を解くのに役立つ問いである。

[応用例題] やや発展的な問題である。「解答」の前に、問題を解くためのポイントを「考え方」として載せた。例題と同じく **【?】** や **①** を載せている。

[練 習] 例、例題、応用例題などの内容を身に付けるための練習問題である。

[考 え 方] 問題に取り組む際にどのように考えたらよいか、そのキーワードである。個々の問題についてではなく汎用性の高いものであるため、今後様々な問題に挑んでいけるような思考力が自然と養われる。

[深 め る] 練習の中でも、少し見方を変えて考える必要がある問題や、内容の正確な理解が必要な問題である。内容の深い理解に役立つ。

[Expression] 正しい数学用語で内容を表現する練習である。

[ま と め] ある程度のまとまりで、そこで学習した内容をまとめた。

[問 題] 各節の終わりにあり、その節で学んだ内容を身に付けるための問題である。関連する内容について、本文の参照ページを示した。最後には思考力を要する問題も掲載している。

[章末問題] A, B に分かれていて、A はその章の内容の復習問題、B は総合的な復習と応用問題である。

[研 究] 本文の内容に関連するやや程度の高い内容である。省略して進むこともできる。

[発 展] 数学の学力が高い生徒の興味・関心を惹くため、高等学校学習指導要領における数学Bの範囲を超えた内容を取り上げた。問題や章末問題で発展に関する内容を扱う場合は **【発展】** を付した。

[Column ] 数学の面白い話題や身近な話題、学習内容を深める話題を取り上げた。

#### 巻 末

[数学の考え方] 問題をどのように考えていけばよいかについて、本文の「考え方」とも関連させて詳しくまとめた。

[総合問題] 思考力・判断力・表現力を要する総合的な問題である。

[主な用語] 本書に登場する主な数学用語と、その英語表現を載せた。また、数学用語を用いて表現する際の注意点も適宜載せた。

#### インターネットへのリンクマーク

教科書の内容について、考察するためのツール、理解を助ける動画やアニメーション、参考資料などが利用できる目印である。インターネットに接続することで活用できる。



## 4 各章において配慮した点

### 第1章 数列 等差数列と等比数列／いろいろな数列／漸化式と数学的帰納法

第1節では、等差数列と等比数列でできるだけ展開や記述を揃えることで、対比しながら学んで共通点と相違点に注目できるようにした。

第2節では、 $\Sigma$ を用いた記法を正確に理解できるよう、 $k=1$ から $k=n$ までの和だけではなく $k=n-1$ までの和なども早い段階で取り上げるなどすることで、自然数の累乗の和の公式を暗記するだけの学習にならないように留意した。

第3節では、まず漸化式によって数列が一意に定まる仕組みを丁寧に解説し、帰納的な定義について十分な理解の上で具体的な漸化式の解法に移るようにした。数学的帰納法の原理についても漸化式での説明を再度用いることで、同じ原理に基づいていることが実感できるように工夫した。

### 第2章 統計的な推測 確率分布／統計的な推測

確率分布については、定理が多く出てくるため、式の計算に終始してしまわないよう、統計を用いてデータを推測することがこの章の目標であることを提示し、そのために各種の定理を学んでいることがわかるようにした。

また、数学Iで学んだデータの分析、数学Aで学んだ確率の内容を適宜取り上げ、内容のつながりを意識しつつ、スムーズに学べるようにした。

仮説検定では、まず数学Iの仮説検定の考え方で扱ったボールペンの書きやすさに関するアンケートを再び取り上げて、確率を用いて判断する例とした。次にそれと対比させる形で、棄却域を用いて判断する例を取り上げることで、数学Iの内容をもとに、ギャップを感じることなく仮説検定の内容が学べるようにした。さらに、巻末「数学の考え方」で2つの判断方法の関係を詳しく説明し、同じ判断を見方を変えて行っているだけであることがわかるようにした。

また、理解を促す図版を多く入れ、視覚的にイメージできるよう工夫した。

### 第3章 数学と社会生活

生徒がこれまで触れてきた、数学を活用して解決する現実の問題は、既に数学の問題として解決できるように設定された後の問題であることがほとんどであった。そのため、「実際にこのような場面に遭遇することはない」と考え、数学が現実問題に役立つことはないと感じている生徒もいるものと思われる。

そのため、まず「数学の問題として解決できるように現実問題を単純化・理想化するような仮定をしてからその問題を解決し、さらに、その結果を吟味して仮定を変更し、現実問題に近づけていく」という、数学を活用して現実問題を解決する手順を詳しく述べ、「数学を社会生活に役立てる」という、第3章全体を通した指針となるようにした。その上で、具体的に数学を活用して解決する社会問題をいくつも取り上げ、数学を用いて真に問題を解決できることが実感できるようにした。

また、社会の中で目にするいくつかの数学的題材を取り上げ、数学的な視点で物事を見る感覚が養えるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	(1) 数列 ア(ア), イ(ア) ア(イ), イ(ア) ア(ウ)(エ), イ(イ)(ウ)	6～53ページ	29
第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	(2) 統計的な推測 ア(イ)(ウ), イ(ア) ア(ア)(エ), イ(ア)(イ)	54～115ページ	33
第3章 数学と社会生活	(3) 数学と社会生活 ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ), 内容の取扱い(2)(3)	116～153ページ	28
		計	90

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-34	高等学校	数学	数学B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
42,43	隣接 3 項間の漸化式	1	(1) 数列 ア(ウ)	2
52	章末問題 13	1	(1) 数列 ア(ウ)	0.25
<b>合 計</b>				2.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容

## 常用漢字以外の使用漢字一覧表

常用漢字以外の 使用漢字	びょう 憑
初出ページ	6 ページ

## 用語・記号リスト

用語・記号	$\Sigma$	信頼区間	有意水準
初出 ページ	25 ページ	100 ページ	106 ページ

## 出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
6	Ceres.satellite image showing the surface of the dwarf planet Ceres.	写真						アフロ 【写真番号】100940923 トリミングして掲載。
6	Ceres. False-coloured composite satellite image of the dwarf planet Ceres.	写真						アフロ 【写真番号】100940915 6ページの2写真は重ねて掲載。
14	Portrait of Carl Friedrich Gauss	写真						アフロ 【写真番号】13986238 トリミングして掲載。
23	貯金通帳に指を刺して確認する男性	写真						アフロ 【写真番号】193486305 トリミングして掲載。
46	Hispanic man knocking over dominoes	写真						アフロ 【写真番号】21911620 トリミングして掲載。
53	レオナルド・フィボナッチ	写真						アフロ 【写真番号】36000819 トリミングして掲載。
53	ウサギ	写真						アフロ 【写真番号】9888426 トリミングして掲載。
54	赤い傘の下に抽象的な女の子、近代的な都市、雨の夜	写真						Shutterstock 【写真番号】2334249353 トリミングして掲載。
88	日本の国勢調査	写真						アフロ 【写真番号】144263891 トリミングして掲載。
107	PFAS：有機フッ素化合物が水道水中に検出？【水質の社会問題のイメージ】	写真						アフロ 【写真番号】268240678 トリミングして掲載。
116	証券取引委員会の背景	写真						Shutterstock 【写真番号】545412415 トリミングして掲載。

# 出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
118	静岡県 富士桜自然墓地 公園の桜と富士山	写真						アフロ 【写真番号】36171734 トリミングして掲載。
124	海外へ向かって飛び立つ 旅客機	写真						アフロ 【写真番号】257220564 トリミングして掲載。
126	イタリア ミラノ Bikemi 自転 車シェアリング	写真						アフロ 【写真番号】29435622 トリミングして掲載。
133	選挙の投票箱	写真						アフロ 【写真番号】117262796 トリミングして掲載。
134	光 林 1人	写真						アフロ 【写真番号】5669628 トリミングして掲載。
138 139 140	那覇の1975年から2024年 までの8月の平均気温	表, 図						気象庁ホームページ 「ホーム>各種データ・資料>過 去の気象データ検索」 <a href="https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=91&amp;block_no=47936&amp;year=&amp;month=8&amp;day=&amp;view=">https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=91&amp;block_no=47936&amp;year=&amp;month=8&amp;day=&amp;view=</a> 那覇の1975年から2024年ま での8月の平均気温  このデータをもとに社内で表, 図を新たに作成。

## 出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
140	東京の1975年から2024年までの8月の平均気温	表						気象庁ホームページ 「ホーム>各種データ・資料>過去の気象データ検索」 <a href="https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&amp;block_no=47662&amp;year=&amp;month=8&amp;day=&amp;view=">https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&amp;block_no=47662&amp;year=&amp;month=8&amp;day=&amp;view=</a> 東京の1975年から2024年までの8月の平均気温  このデータをもとに社内で表を新たに作成。
141 144 147 169 170	2014年1月から2023年12月までの東京都の1世帯あたりの1か月のアイスクリーム・シャーベットの支出額	図, 表						東京都の統計ホームページ 「トップ >都民のくらしむき >都民のくらしむき 過去のデータ」の品目別生計支出 <a href="https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/seikei/sb-index2.htm">https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/seikei/sb-index2.htm</a> 2014年1月から2023年12月までの東京都の1世帯あたりの1か月のアイスクリーム・シャーベットの支出額  このデータをもとに社内で図, 表を新たに作成。

## 出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
144 147 169 170	東京の2019年1月から 2023年12月までの月ごと の平均気温	図, 表						気象庁ホームページ 「ホーム>各種データ・資料>過 去の気象データ検索」 <a href="https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&amp;block_no=47662&amp;year=&amp;month=&amp;day=&amp;view=">https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=44&amp;block_no=47662&amp;year=&amp;month=&amp;day=&amp;view=</a> 東京の2019年1月から2023年 12月までの月ごとの平均気温  このデータをもとに社内で図, 表を新たに作成。
151	太陽系8惑星の公転周期 と太陽からの平均距離	表, 図	理科年表2025	天2(78), 天3(79)	国立天文台 編	丸善出版	2024年11月	公転周期Tは対恒星公転周期 のデータ, 太陽からの平均距 離aは軌道長半径のデータを 使用。 このデータをもとに水星, 金星 は小数第4位, それ以外の惑 星は小数第3位を四捨五入し て社内で新たに表, 図を作 成。
153	火星	写真						アフロ 【写真番号】10290939
156	黒板の上の苦痛を解こうと する人	写真						Shutterstock 【写真番号】766032712
前1, 2	米NYで国連サミット開催 へ 貧困・差別など撲滅目 指す	写真						アフロ 【写真番号】125315235 トリミングして掲載。

\* 上記以外の写真などは自社作成

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には, 引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には, 引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には, 国語教材, 楽譜, 写真, 図, 挿絵, 表, グラフ, 地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は, 当該図書の名称(版次を含む。), 掲載ページ, 著作者・編集者等, 発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は, 発行年次等欄に巻号, 発行月日等を示す。

- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。  
(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し 3	URL, 二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	前見返し3上
	前見返し 3	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	前見返し3下 リンク先は前見返 し3上の二次元 コードと同じ
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数学Bで学習する公式 などを確認する自社作 成コンテンツを掲載	別紙1添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数学の用語を確認する 自社作成コンテンツを 掲載	別紙2添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第1章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ を掲載	別紙3添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第2章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ を掲載	別紙4添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第3章の内容に関連す る既習内容の確認でき る自社作成コンテンツ を掲載	別紙5添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数列の一般項に関する 自社作成計算練習コン テンツを掲載	別紙6添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列の一般項に 関する自社作成計算練 習コンテンツを掲載	別紙7添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列の和に関する 自社作成計算練習コン テンツを掲載	別紙8添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	自然数の和に関する自 社作成計算練習コンテ ンツを掲載	別紙9添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等比数列の一般項に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙10添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等比数列の一般項に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙11添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等比数列の和に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙12添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等比数列の和に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙13添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	和の記号 $\Sigma$ に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙14添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	階差数列に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙15添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	数列の和と一般項に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙16添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列と等比数列の漸化式に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙17添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	漸化式の変形に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙18添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	漸化式に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙19添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	確率変数の期待値に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙20添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	確率変数の分散, 標準偏差に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙21添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	確率変数の変換に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙22添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	二項分布の期待値, 分散, 標準偏差に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙23添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	確率密度関数に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙24添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	母平均の推定に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙25添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	母比率の推定に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙26添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	仮説検定(両側検定)に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙27添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	仮説検定(片側検定)に関する自社作成計算練習コンテンツを掲載	別紙28添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	自然数の累乗の和に関する自社作成動画を掲載	別紙29添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	フィボナッチ数列に関する自社作成動画を掲載	別紙30添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	偏差値に関する自社作成動画を掲載	別紙31添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	仮説検定と信頼区間の関係に関する自社作成動画を掲載	別紙32添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	有意水準を先に決める理由に関する自社作成動画を掲載	別紙33添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	回帰直線に関する自社作成動画を掲載	別紙34添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列と等比数列を説明する自社作成動画を掲載	別紙35添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列の和を説明する自社作成動画を掲載	別紙36添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等比数列の和を説明する自社作成動画を掲載	別紙37添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	自然数に関する和の公式を説明する自社作成動画を掲載	別紙38添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	標本平均の期待値と標準偏差を説明する自社作成動画を掲載	別紙39添付
	前見返し 3	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	母平均の推定を説明する自社作成動画を掲載	別紙40添付
	6	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第1章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙41添付
	7	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	8	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	第1章第1節にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙42添付
	9	二次元 コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	15	自社作成 マーク	自社	自社ページURL	等差数列の和の公式に関する自社作成アニメーションを掲載	別紙43添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	15	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	23	自社作成マーク	自社	自社ページURL	複利計算のシミュレーションする自社作成コンテンツを掲載	別紙44添付
	23	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	25	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第1章第2節にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙45添付
	25	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	37	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第1章第3節にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙46添付
	37	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	44	自社作成マーク	自社	自社ページURL	例題の内容に関する自社作成アニメーションを掲載	別紙47添付
	45	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	46	自社作成マーク	自社	自社ページURL	数学的帰納法のイメージを説明する自社作成アニメーションを掲載	別紙48添付
	47	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	54	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第2章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙49添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	55	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	56	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第2章第1節にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙50添付
	57	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	77	自社作成マーク	自社	自社ページURL	ヒストグラムの形が1つの曲線に近づく様子を確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙51添付
	77	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	79	自社作成マーク	自社	自社ページURL	正規分布曲線のグラフに関する自社作成コンテンツを掲載	別紙52添付
	79	自社作成マーク	自社	自社ページURL	正規分布曲線の性質に関する自社作成コンテンツを掲載	別紙53添付
	79	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	82	自社作成マーク	自社	自社ページURL	標準正規分布を用いた確率の計算をイメージする自社作成コンテンツを掲載	別紙54添付
	83	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	84	自社作成マーク	自社	自社ページURL	二項分布が正規分布に近づく様子を確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙55添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	85	自社作成マーク	自社	自社ページURL	二項分布の性質を確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙56添付
	85	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	88	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第2章第2節にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙57添付
	88	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第2節で学ぶ内容を解説する自社作成動画を掲載	別紙58添付
	88	自社作成マーク	総務省統計局	<a href="https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2025/index.html">https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2025/index.html</a>	総務省統計局ホームページにある、令和7年の国勢調査のトップページへのリンク	
	89, 90	自社作成マーク	自社	自社ページURL	無作為抽出を行うことのできる自社作成コンテンツを掲載	別紙59添付
	89	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	91	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	92	自社作成マーク	自社	自社ページURL	標本平均が確率変数であることを確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙60添付
	93	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	95	自社作成マーク	自社	自社ページURL	標本平均の分布が正規分布に近づく様子を 確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙61添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	95	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	98	自社作成マーク	自社	自社ページURL	大数の法則をイメージする自社作成アニメーションを掲載	別紙62添付
	99	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	101	自社作成マーク	自社	自社ページURL	信頼区間の意味を説明する自社作成アニメーションを掲載	別紙63添付
	101	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	116	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第3章の内容を紹介する自社作成動画を掲載	別紙64添付
	117	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	118	自社作成マーク	自社	自社ページURL	第3章にある問題どうしの関係を表す自社作成コンテンツを掲載	別紙65添付
	119	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	125	自社作成マーク	自社	自社ページURL	練習問題の解答を予想する自社作成コンテンツを掲載	別紙66添付
	125	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	128	自社作成マーク	自社	自社ページURL	自転車の台数の割合をシミュレーションする自社作成コンテンツを掲載	別紙67添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	129	自社作成マーク	自社	自社ページURL	自転車の台数の割合をシミュレーションする自社作成コンテンツを掲載	別紙68添付
	129	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	133	自社作成マーク	自社	自社ページURL	アダムズ方式での議席配分をシミュレーションする自社作成コンテンツを掲載	別紙69添付 2つの自社作成マークのリンク先は同じ
	133	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	140	自社作成マーク	自社	自社ページURL	時系列データの折れ線グラフを作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙70添付
	140	自社作成マーク	自社	自社ページURL	時系列データの折れ線グラフを作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙71添付
	141	自社作成マーク	自社	自社ページURL	時系列データの折れ線グラフを作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙72添付
	141	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	147	自社作成マーク	自社	自社ページURL	散布図と回帰直線, 回帰曲線を作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙73添付
	147	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	149	自社作成マーク	自社	自社ページURL	散布図と回帰直線, 回帰曲線を作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙74添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	149	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	150	自社作成マーク	自社	自社ページURL	散布図と回帰直線, 回帰曲線を作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙75添付
	150	自社作成マーク	自社	自社ページURL	散布図と回帰直線, 回帰曲線を作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙76添付
	151	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	153	自社作成マーク	自社	自社ページURL	対数目盛の散布図を作成する自社作成コンテンツを掲載	別紙77添付
	153	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	154	自社作成マーク	自社	自社ページURL	高校数学の学び方に関する自社作成コンテンツを掲載	別紙78添付
	155	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	156	自社作成マーク	自社	自社ページURL	数学の考え方の掲載箇所を確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙79添付
	157	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	後見返し1	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ
	後見返し1	自社作成マーク	自社	自社ページURL	標本平均の分布が正規分布に近づく様子を確認する自社作成コンテンツを掲載	別紙80添付

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
	裏表紙	二次元コード	自社	自社ページURL	Web情報リンク集	リンク先は前見返し3上の二次元コードと同じ

(備考) 申請図書中に発行者が管理するウェブサイトのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものを含む)を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「番号」の欄は、複数のページ等に記載されたウェブサイトのアドレスが同一のウェブサイトを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。
- ② 「ページ」の欄は、ウェブサイトのアドレスの申請図書における掲載ページを示す。
- ③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考にする情報」の欄については次のとおりとする。

- ① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考にするページを作成する団体名などを記入する。
- ② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考にするページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。
- ③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブサイトのアドレスが参照させるウェブサイトの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考にする情報を示すウェブサイトが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブサイトの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

## 第1章 数列



p.6  
第1章の内容



p.15  
等差数列の和



p.25  
第1章第2節の問題ロードマップ



p.44 研究 例題1  
漸化式の活用



p.8  
第1章第1節の問題ロードマップ



p.23 研究  
複利計算



p.37  
第1章第3節の問題ロードマップ



p.46  
数学的帰納法

## 第2章 統計的な推測



p.54  
第2章の内容



p.77  
連続型確率変数



p.79  
正規分布曲線の性質



p.84  
二項分布の折れ線グラフと正規分布曲線



p.88  
第2章第2節の問題ロードマップ



p.88  
令和7年国勢調査(総務省統計局)



p.92  
標本平均



p.98  
大数の法則



p.56  
第2章第1節の問題ロードマップ



p.79  
正規分布曲線



p.82 例題1  
標準正規分布を用いた確率の計算



p.85  
二項分布の正規分布による近似



p.88 ここで学ぶこと  
統計的な推測とは



p.89, 90 練習28  
無作為抽出



p.95  
標本平均の分布



p.101  
信頼区間の意味

## 第3章 数学と社会生活



p.116

第3章の内容



p.118

第3章の問題ロードマップ



p.125 練習5

ハブ空港の建設地



p.128 練習8

自転車の台数の割合



p.129 練習10

自転車の台数の割合



p.133 練習13, 14

アダムズ方式による議席配分



p.140

時系列データと移動平均



p.140 練習21

時系列データと移動平均



p.141

時系列データと移動平均



p.147

回帰分析



p.149 練習25

回帰分析



p.150

回帰分析



p.150 練習26

回帰分析



p.153 練習28

対数目盛の散布図

## 数学の考え方



p.154

高校数学の学び方



p.156

本書に登場する数学の考え方

## 後見返し



後見返し

標本平均の分布と正規分布

## その他のコンテンツ

### 公式集, 用語辞書



公式集



用語辞書

## 既習内容の確認問題



### 第1章 数列

確認



### 第2章 統計的な推測

確認



### 第3章 数学と社会生活

確認

## 計算カード



### 第1章 数列

計算

数列の一般項



### 第1章 数列

計算

等差数列の一般項



### 第1章 数列

計算

等差数列の和



### 第1章 数列

計算

自然数の和



### 第1章 数列

計算

等比数列の一般項1



### 第1章 数列

計算

等比数列の一般項2



### 第1章 数列

計算

等比数列の和1



### 第1章 数列

計算

等比数列の和2



### 第1章 数列

計算

和の記号  $\sum$  の計算



### 第1章 数列

計算

階差数列



### 第1章 数列

計算

数列の和と一般項



### 第1章 数列

計算

等差数列と等比数列の漸化式



### 第1章 数列

計算

漸化式の変形



### 第1章 数列

計算

漸化式



### 第2章 統計的な推測

計算

確率変数の期待値



### 第2章 統計的な推測

計算

確率変数の分散, 標準偏差



### 第2章 統計的な推測

計算

確率変数の変換



### 第2章 統計的な推測

計算

二項分布の期待値, 分散, 標準偏差



### 第2章 統計的な推測

計算

確率密度関数



### 第2章 統計的な推測

計算

母平均の推定



### 第2章 統計的な推測

計算

母比率の推定



### 第2章 統計的な推測

計算

仮説検定 (両側検定)



### 第2章 統計的な推測

計算

仮説検定 (片側検定)

## 数学の理解を深める動画



自然数の累乗の和



偏差値



有意水準を先に決める理由



フィボナッチ数列



仮説検定と信頼区間の関係



回帰直線

## 公式を理解する動画



第1章 数列

等差数列と等比数列



第1章 数列

等比数列の和



第2章 統計的な推測

標本平均の期待値と標準偏差



第1章 数列

等差数列の和



第1章 数列

自然数に関する和の公式



第2章 統計的な推測

母平均の推定

初項  $a$ 、公差  $d$  の等差数列  $\{a_n\}$  の一般項は

<  $a_n =$   >

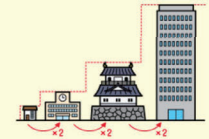
$a_n = a + (n - 1)d$   
1だけ小さい

とうひすうれつ  
等比数列

(数列)

数列  $a_1, a_2, a_3, \dots, a_n, \dots$  において、  
各項に一定の数  $r$  を掛けると、  
次の項が得られるとき、  
この数列を等比数列という

例 数列 1, 2, 4, 8,  $\dots$  は 等比数列

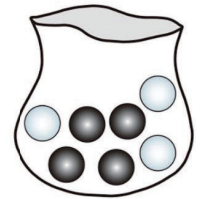


関連語 等差数列 公比

不等式  $4n - 5 > 100$  を満たす最小の自然数  $n$  を求めよ。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

白玉 3 個と黒玉 4 個の入った袋から、  
2 個の玉を同時に取り出すとき、2 個  
とも黒玉が出る確率を求めよ。


1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

2点  $(-1, 5)$ ,  $(2, -1)$  を通る直線の方程式を求めよ。



ふせん  
表示 / 非表示

○できた

×できなかった

解説動画

この問題の類題

あとで  
見返す

一般項が次の式で表される数列の、  
初項から第5項までを求めなさい。

$$a_n = \frac{n^2}{2}$$



次の等差数列  $\{a_n\}$  について

2, 8, 14, 20, 26, ……

一般項は



第11項は



次の等差数列について

21, 17, 13, 9, 5, 1, -3

和  $S$  は



別紙 9

1 から 45 までの  
自然数の和は  >

別紙 1 0

次の等比数列  $\{a_n\}$  について  
2, -4, 8, -16, ……  
一般項は  >  
第 6 項は

別紙 1 1

初項が 1, 第 3 項が 4 である  
等比数列  $\{a_n\}$  の一般項は  
 $a_n =$   または  $a_n =$   >

別紙 1 2

初項 1, 末項 9, 項数 5 である  
等比数列の和  $S$  は  $S =$   >

別紙 1 3

TOP OFF 1/5

次の等比数列について

$4, 4 \times 2, 4 \times 2^2, 4 \times 2^3$

和  $S$  は

別紙 1 4

TOP OFF 1/5

$$\sum_{k=1}^5 (2k^2 - 3)$$

$=$

別紙 1 5

TOP OFF 1/5

次の数列  $\{a_n\}$  について

$3, 7, 15, 27, 43, \dots$

第 12 項は

(階差数列を利用して求めること。)

別紙 1 6

TOP OFF 1/5

初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  が、  
 $S_n = 3n$  で表される数列  $\{a_n\}$  の  
 一般項は  $a_n =$

TOP OFF 1/5

次の条件で定まる数列  $\{a_n\}$  について

$$a_1 = -4, a_{n+1} = a_n + 3$$

一般項は  $a_n =$

TOP OFF 1/5

$a_{n+1} = -3a_n + 16$  を変形すると

$$a_{n+1} - \square = -3(a_n - \square)$$

TOP OFF 1/5

次の条件で定まる数列  $\{a_n\}$  について

$$a_1 = 4, a_{n+1} = -3a_n - 8$$

一般項は  $a_n =$

TOP OFF 1/5

白玉 2 個と黒玉 2 個が入った袋から 2 個の玉を同時に取り出すとき、白玉が出る個数  $X$  の期待値  $E(X)$  は

$$E(X) = \square$$